

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年5月18日

【四半期会計期間】 第89期第2四半期
(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

【会社名】 丸三証券株式会社

【英訳名】 Marusan Securities Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 長尾 榮次郎

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋二丁目5番2号

【電話番号】 03(3272)5211(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員財務部長 山崎 昇

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋二丁目5番2号

【電話番号】 03(3272)5211(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員財務部長 山崎 昇

【縦覧に供する場所】 横浜支店
(横浜市中区尾上町三丁目39番地)
千葉支店
(千葉市中央区新町1000番地)
秩父支店
(秩父市番場町10番4号)
名古屋支店
(名古屋市中区錦二丁目19番18号)
大阪支店
(大阪市中央区南本町一丁目7番15号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成20年11月13日に提出いたしました第89期第2四半期(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)四半期報告書について、記載事項の一部を訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するために四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正を行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を関連書類として提出致します。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

連結経営指標等

第2 事業の状況

2 財政状態及び経営成績の分析

(2) キャッシュ・フローの状況

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

(訂正前)

回次	第89期 第2四半期 連結累計期間	第89期 第2四半期 連結会計期間	第88期
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日	自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日
営業収益 (百万円)	7,542	3,399	19,873
純営業収益 (百万円)	7,410	3,330	19,539
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	△246	△450	3,692
四半期(当期)純利益又は 四半期(当期)純損失(△) (百万円)	△529	△776	1,658
純資産額 (百万円)	—	46,967	49,494
総資産額 (百万円)	—	86,805	87,660
1株当たり純資産額 (円)	—	648.19	670.28
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期(当期)純損失(△) (円)	△7.28	△10.72	22.50
潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純利益 (円)	—	—	22.47
自己資本比率 (%)	—	54.03	56.41
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	7,215	—	4,130
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△160	—	△477
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△1,392	—	△5,208
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	—	12,583	6,976
従業員数 (名)	—	980	891

(注) 1. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

2. 第89期第2四半期連結累計(会計)期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(訂正後)

回次	第89期 第2四半期 連結累計期間	第89期 第2四半期 連結会計期間	第88期
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日	自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日
営業収益 (百万円)	7,542	3,399	19,873
純営業収益 (百万円)	7,410	3,330	19,539
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	△246	△450	3,692
四半期(当期)純利益又は 四半期(当期)純損失(△) (百万円)	△529	△776	1,658
純資産額 (百万円)	—	46,967	49,494
総資産額 (百万円)	—	86,805	87,660
1株当たり純資産額 (円)	—	648.19	670.28
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期(当期)純損失(△) (円)	△7.28	△10.72	22.50
潜在株式調整後1株当 り四半期(当期)純利益 (円)	—	—	22.47
自己資本比率 (%)	—	54.03	56.41
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	7,179	—	4,130
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△160	—	△477
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△1,392	—	△5,208
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	—	12,583	6,976
従業員数 (名)	—	980	891

(注) 1. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

2. 第89期第2四半期連結累計(会計)期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

第2 【事業の状況】

2 【財政状態及び経営成績の分析】

(2) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当第2四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、貸付金の増加や税金等調整前四半期純損失等、資金の減少要因がありましたが、一方では信用取引資産の減少や顧客分別金信託の減少等、資金の増加要因があったことから、63億28百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による資金の増加要因がありましたが、一方では有形固定資産等の取得による資金の減少要因があったことから、39百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に自己株式の取得及び配当金の支払い等により1億83百万円の支出となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、第1四半期連結会計期間末より59億54百万円増加し、125億83百万円となりました。

(訂正後)

当第2四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、貸付金の増加や税金等調整前四半期純損失等、資金の減少要因がありましたが、一方では信用取引資産の減少や顧客分別金信託の減少等、資金の増加要因があったことから、62億45百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による資金の増加要因がありましたが、一方では有形固定資産等の取得による資金の減少要因があったことから、39百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に自己株式の取得及び配当金の支払い等により1億83百万円の支出となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、第1四半期連結会計期間末より59億54百万円増加し、125億83百万円となりました。

第5 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△53
減価償却費	429
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△37
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△68
賞与引当金の増減額(△は減少)	△53
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20
金融商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	△227
受取利息及び受取配当金	△737
支払利息	131
有形固定資産等の評価減、売却損益	6
有価証券の評価損、売却損益	42
顧客分別金信託の増減額(△は増加)	1,457
貸付金の増減額(△は増加)	△4,003
立替金及び預り金の増減額	909
トレーディング商品の増減額	△397
信用取引資産及び信用取引負債の増減額	9,979
受入保証金の増減額(△は減少)	△923
その他	703
小計	7,137
利息及び配当金の受取額	768
利息の支払額	△131
法人税等の支払額	△559
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,215
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却による収入	23
有形固定資産等の取得による支出	△183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△1,023
自己株式の売却による収入	2
配当金の支払額	△371
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,606
現金及び現金同等物の期首残高	6,976
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 12,583

(訂正後)

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△53
減価償却費	429
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△37
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△68
賞与引当金の増減額(△は減少)	△53
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20
金融商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	△227
受取利息及び受取配当金	△737
支払利息	131
有形固定資産等の評価減、売却損益	6
有価証券の評価損、売却損益	42
顧客分別金信託の増減額(△は増加)	1,457
貸付金の増減額(△は増加)	△4,003
立替金及び預り金の増減額	909
トレーディング商品の増減額	△397
信用取引資産及び信用取引負債の増減額	9,979
受入保証金の増減額(△は減少)	△923
その他	667
小計	7,101
利息及び配当金の受取額	768
利息の支払額	△131
法人税等の支払額	△559
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,179
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却による収入	23
有形固定資産等の取得による支出	△183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△1,023
自己株式の売却による収入	2
配当金の支払額	△371
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,606
現金及び現金同等物の期首残高	6,976
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 12,583